

(平成四年第三回定例会閉会後の本会議場演壇における助役の退任・就任あいさつ)

○議長(赤星行人君) なお、ここでお時間をいただきました。新旧両助役さんにごあいさつをいただきますので、よろしく願います。

それでは、前浅見助役さんよりごあいさつをお願いいたします。

(前助役 浅見裕康氏登壇)

○前助役(浅見裕康氏) 貴重な時間をおさきいただきまして、退任のごあいさつを申し上げる機会を賜りましたことに対しまして厚くお礼を申し上げる次第でございます。

私は、昭和二十九年の四月に町役場に就職をさせていただきました。約三十八年半、長いことお世話になりました。今、思い出せば長くもあり、また短くもあり、いろいろなことを感じておるところでございます。その間に担当いたしました仕事の種類につきましては、私の持てる力からすれば概ねつつがなくその職務を果たすことができましたと私なりに自負しているところでございます。

また、このことは、言い換えますれば私の仕事中、この間、かわりを持っていただきました議員各位の皆さまをはじめ、多くの方々の温かい御指導と御厚誼の賜物であろうと、ほかならぬところでございまして、心から厚くお礼を申し上げる次第でございます。幸い勤務に際しましては、その多くの間、行政の中核に置いていただきまして、極めて恵まれた労働環境で、精いっぱい仕事をさせていただきました。また、ちづくりにも多くの思い出を残させていただきました。また、仕事を通しての人々との触れ合いにつきましても、市の内部にとどまらず、外部に対しても広いお付き合いをいただきましたのも限りなく幸甚であつたと、今さらながら心からありがたく存じているところでございます。

市の行政は、御案内のとおり、国政、あるいは都政、県政、そういったものと比較いたしますと、当然のこととしてまさに小さな器の中の活動でございます。しかしながら、既に私といたしましては充実感、こういうものを失わずに勤務ができたというふうに考えておるところでございます。また、職員の最後の市に対する御奉公といたしまして、一期四年の短い期間ではございましたが、議会の御信任をいただきまして、石川市政執行に際し助役の席を汚させていただきましたことは大きな名誉と心から御礼を申し上げます。

る次第でございます。

これからの私に残されました人生を、過去に記しました多くの思い出を糧に、少しでも今後とも社会の役に立てますよう努力を続けながら過ごしていきたいと思っております。つきましては、今後ともぜひとも変わらぬ温かい御指導と御厚誼を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

終わりに臨みまして、議員各位のますますの御活躍と御健勝を心から祈念申し上げます。

まことに粗辞でございましたが、輝く街福生実現に思いをはせながら退任のごあいさつとさせていただきます。本当に長い間お世話になりました。本当にありがとうございます。今後ともよろしく願ひします。（拍手）

○議長（赤星行人君） 続きまして、野澤新助役よりごあいさつをお願いします。

（助役 野澤久人君登壇）

○助役（野澤久人君登壇） 貴重な時間を、お許しをいただきましてごあいさつを申し上げます。

先ほどは助役選任の御同意をいただきまして、まことにありがとうございます。責任の重さを痛切に感じているところでございます。市長を補佐し、浅見前助役の心を受け継ぎまして、輝く街福生の将来のために私心を捨て、全力を傾注するつもりでございます。

御承知のとおり、福生市は都市基盤、生活基盤面におきましては議員各位、先輩各位の御努力によりまして、まだ不十分な面はあるとは思いますが、全体的にはよく整備されたまちになってきていると、そんなふうに考えているところでございます。

しかしながら、上位計画、近隣の動きを見ますと、立川、昭島の心の計画、青梅の多摩の心の計画、さらに、阿伎留台開発に加えてまして圏央道、モノレール等各種事業が動き出しているところでございまして、この数年の間に大変貌が予測されるところでございます。福生のあすのためには今が非常に大事な時期だというふうな認識を持っているところでございます。

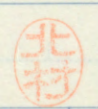
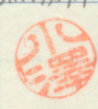
市長が言われるところの、生き生きとした真に豊かな市民が生活し、外から人が来る輝く街福生をつくるという大きな課題に、市長を補佐してチャレンジしなければならぬと考えているところでございます。

このための具体的課題が山積をいたしております。一つ一つ着実に解決を図る努力をしなければと思っております。

しかしながら、思いはありましても、私自身大変未熟でございます。どうか議員各位に置かれましてはさまざまな御指導、御鞭撻を賜りますよう心から願ひを申し上げます。また、いろいろな面で御迷惑をおかけする点もあろうかと存じますが、どうかよろしく願ひを申し上げましてあいさつとさせていただきます。

大変ありがとうございます。（拍手）

○議長（赤星行人君） 以上で終わります。

決裁 区分	甲 乙 <u>丙</u> 丁	文書 分類	<u>20</u> 送 庁内・議案・令達		福議 収 第 <u>38</u> 号
保存	1 3 5 10 15 <u>永</u>	廃棄	年 月		F・No. <u>5 3 2</u>
取扱上 注意	至 急 秘	添付 物			起案 <u>平成5年 2月 26日</u>
浄書 発 送 要 求	浄書区分	本	控	計	決裁 年 月 日
	☐ タイプ 原・力				施行 年 月 日
	☐ 孔 版				先方 年 月 日付 第 号
	☐ 手書複写				
☐ ペン 書					
用 紙		発 送			
☐ 更 紙		☐ 普通 ☐ 速達			
☐ 中質紙		☐ 書留 ☐ 親展			
☐ 上質紙		☐ 使送 ☐ 携行			
☐ タイプ紙		☐ その他			
☐ その他					
浄 書	照 合	公 印	施 行	事・機係長	作成完了 希望日 月 日迄 作成 月 日了
					発送完了 希望日 月 日迄 発送 月 日了
主 管	起 案 者	係 員	係 長	次 長	局 長
	氏 名 <u>北村 圭</u>				
あて先	福生市長 <u>石川 彌八郎</u>		庶・職課長	庶務係長	
発信者	福生市議会議員 <u>赤星 行人</u>				
注意事項			議 席務係長		
件 名	<u>会議録の送付について</u>				
上記のことについて <u>別紙</u> のように <u>照会 回答 報告 依頼</u> してよろしいか伺います。 <u>申請 通知 決定 実施</u> 送付 します。					

1 平成4年第4回福生市議会定例会
(12月9日～12月21日)

福議発第三十八号

平成五年二月二十六日

福生市長

石川 彌 八 郎 殿

会議録の送付について

平成四年第四回福生市議会定例会の会議録の写を別紙のとおり作製いたしましたので、地方自治法第二二三条第三項の規定により送付いたします。

福生市議会議長

赤 星 行 人



5

10

15

20

25

(平成四年第四回定例会開会前の本会議場演壇における教育委員会委員、監査委員の就任あいさつ)

○議長(赤星行人君) それでは、初めに田村征利教育委員会委員よりあいさつをお願いいたします。

(教育委員会委員 田村征利氏登壇)

○教育委員会委員(田村征利氏) 本日は貴重な時間をいただきましてまことにありがとうございます。私は、先般の市議会におきまして市教育委員会委員に任命・同意をいただきました田村征利でございます。よろしくお願い申し上げます。大変僭越ではありますが、一言ごあいさつをさせていただきますと思います。

申し上げるまでもなく、教育の目指すところは理想の追求であります。しかしながら、昨今のように世の中が目まぐるしく変化する時代におきましては、現実への対応もまた極めて重要であると考えております。幸い、当市におきましては市議会をはじめ、関係各方面の多大な御尽力によりまして教育にかかわる諸施設が着々と完備されつつありますことはまことに喜ばしいことでございまして、これらの有効利用により、創造性豊かな生き生きとした人づくりの推進がなされなければならないと考えております。

こうした中で、学校教育の面におきましては週五日制の導入をはじめとする諸問題、さらに、社会教育におきましては生涯学習社会の到来に伴う諸施策等、これらはひとり教育の分野にとどまることなく、広く社会的にも極めて関心を呼ぶ問題であります。こうしたことに対処するには、一層の広い視野と幅広い知識が要求されるところであります。せっかく任命をいただきました以上、さらに研鑽を重ね、努力を尽くしてまいりたいと念じております。

各位の一層の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。まことにありがとうございます。(拍手)

○議長(赤星行人君) 続きまして、持田 力監査委員よりあいさつをお願いいたします。

(監査委員 持田 力氏登壇)

○監査委員(持田 力氏) おはようございます。ただいま議長さんから御紹介をいただきました福生市代表監査委員の持田 力でございます。十二月定例市議会に先立ちまして、貴重な時間を拝借いたしました。

一言ごあいさつを申し上げる時間をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、本年の九月、定例市議会におきまして選任同意をいただき、十月一日付けをもちまして福生市監査委員に再任いたしました。過去四年間、微力ながらこの重責を務めるべき努力をいたしてまいりました。今後は監査委員に再任されました以上、心を新たにし、そして過去四年間の経験を生かし、地方自治における監査の重要性を踏まえ、微力ながら福生市発展のため、誠実にかつ公正に職務を行っていきたいと存じます。

今後ともよろしく御指導、御鞭撻のほどをお願い申し上げます、大変簡単ではございますが、ごあいさつに変えさせていただきます。ありがとうございます。（拍手）

○議長（赤星行人君） 以上であいさつを終わります。お忙しいところを御苦勞さまでした。

（平成四年第四回定例会閉会後の本会議場演壇における教育長の再任あいさつ）

○議長（赤星行人君） 先ほど福生市教育委員会委員として同意されました来住野和也君よりあいさつをお願いいたします。

（教育委員 来住野和也君登壇）

○教育委員（来住野和也君） 先ほどは再任の御同意をいただきましてありがとうございます。

考えてみますと、四年前に全くの初心者と言っていたような状態で教育委員を仰せつかりましてから四年間、議員各位、それから職員の皆さん、広くいえば市民の皆さんから本当に温かい御指導と御協力をいただきました。この四年間務めさせていただきました。この席をお借りしまして心から感謝申し上げます。

ちょっと感想を申し上げますと、だんだん慣れてきてものが見えてきたら元気が少しなくなってきてまして、これではいかんなど少し反省しているところにまた市長の方から、あるいは皆さんの御同意をいただいてこれから四年、また務めさせていただくわけですが、初心に立ち返りまして、元気よく、明るく、開かれた教育行政のために微力ながら尽くしてまいりたいと思いますので、皆さん方の旧に倍した御指導、御鞭撻、御強力をお願い申し上げます、簡単ですがごあいさつといたします。

ありがとうございます。（拍手）

○議長（赤星行人君） 以上であいさつは終わりました。



開 会 平成四年十二月 九日
閉 会 平成四年十二月二十一日

平成四年

福生市議会 第四回定例会 会議録

福生市議会

会 議 録 目 次

○十二月九日（水）（第十六号）

出欠席議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一

出席説明員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・二

議事日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・三

開会・開議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・五

日程第一 会議録署名議員の指名・・・・・・・・・・・・・五

五番 野口 秀世 君

六番 浜中 輝夫 君

七番 須釜 亮次 君

諸報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・五

日程第二 会期の決定（議会運営委員長報告）・・・・・・・・六

日程第三 一般質問

林田 武君・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・七

浜中 輝夫君・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・二二

遠藤 洋一君・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・四〇

吉沢 嘉翁君・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・五九

大野 悦子君・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・七七

延会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・八二

○十二月十日（木）（第十七号）

出欠席議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・八三

出席説明員	八四
議事日程	八五
開議	八七
諸報告	八七
議会運営委員長報告	八七
日程第一	議案第百十号
日程第二	議案第百十一号
日程第三	一般質問
指田	保雄君
原	敏子君
小野沢	久君
田村	正秋君
松山	清君
延会	一七一

○十二月十一日(金) (第十八号)

出欠席議員	一七三
出席説明員	一七四
議事日程	一七五
開議	一七七
議会運営委員長報告	一七七

日程第一	議案第九十九号	福生市児童遊園条例の一部を改正する条例	一七七
日程第二	議案第百号	福生市特殊疾病患者福祉手当条例の一部を改正する条例	一七八
日程第三	議案第百一号	福生市農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例	一八一
日程第四	議案第百二号	福生市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	一八三
日程第五	議案第百三号	福生市下水道使用料条例の一部を改正する条例	一八四
日程第六	議案第百四号	福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例	一八八
保留答弁(議案百一号について)			一九三
発言訂正の申し出			一九三
日程第七	議案第百五号	平成四年度福生市一般会計補正予算(第三号)	一九四
日程第八	議案第百六号	平成四年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)	一九九
日程第九	議案第百七号	平成四年度福生市下水道事業会計補正予算(第二号)	二〇一
日程第十	議案第百八号	財産の取得について	二〇二
議会運営委員長報告			二〇七
日程第十一	議案第百九号	市道路線の認定について	二〇八
日程第十二	陳情第四—二十号	「保険でよい入れ歯」を要望する意見書提出に関する陳情書	二〇九
日程第十三	陳情第四—二十一号	原爆被害者援護法即時制定の促進を求める国への意	二一〇